



ダイナミックな北羽鳥香取神社の獅子舞

地域で継承する 舞・踊り・おはやしを披露

成田伝統芸能祭り

市内に古くから伝わる芸能を身近に感じてもらうと2月24日、国際文化会館で「成田伝統芸能祭り」が開催されました。披露されたのは、北羽鳥香取神社の三匹獅子舞や方方麻賀多神社の雄獅子・雌獅子の獅子舞など、地域の祭りで受け継がれてきた6演目。休憩時間にはロビーで大道芸の実演などが行われ、観客の目を楽しませました。



優雅に舞う方方麻賀多神社の雌獅子



講師の剪定に見入る参加者たち

手入れのこつを習得

梅の剪定教室

梅の花が咲き始めるのを前に、木の手入れの仕方をも身に付けてもらうと「梅の剪定教室」が2月16日、下総公民館で行われました。まずは講師が切る枝・残す枝の見分け方や切る場所などを指導。その後、指導を基に、参加者同士でアドバイスを送り合い協力しながら実習に取り組みました。実習中にも講師に数々の質問を投げかけるなど、参加者は熱心に剪定方法の習得に励んでいました。

團十郎とのつながりを知る

成田観光学

成田の歴史を学び、成田を訪れる観光客をもてなす際に役立ててもらおうと「成田観光学」が2月16日、市役所で開催されました。テーマは「成田と團十郎、そのルーツ」。講演会の冒頭では、2月3日に逝去した十二代目市川團十郎をしのび、黙とうが捧げられました。講師の松井今朝子さん(直木賞作家)は、初代團十郎が成田山新勝寺で祈願をし、二代目を授かったことから始まる團十郎と成田のつながりを解説しました。歴代の團十郎のエピソードと歌舞伎の歴史を織り交せた話に、約230人の参加者は、メモを取りながら聞き入っていました。



聴衆を前に語る松井今朝子さん

ローソン3,086店舗で販売

成田ソラあんぱんの新作

成田ソラあんぱんの新作が、3月19日(火)からコンビニエンスストア「ローソン」で販売されます。成田ソラあんぱんは、その普及と質の確保を目的とする成田ソラあんぱん普及委員会が認証基準に基づいて審査・認証しています。新たに仲間入りしたのは、成田市名産のさつまいも「大栄愛娘」を使用した「さつまいもあんぱん(塩つぶあん入り)」「まるでさつまいもあんぱん」の2種類。関東・甲信越地区のローソン3,086店舗で、4月23日(火)までの期間限定販売です。



安平ローソン南関東ローソン支社長に
認定証を渡す小泉市長

「さつまいもあんぱん(塩つぶあん入り)
(左)」と「まるでさつまいもあんぱん」



かわいくできたでしょ!

きれいに穴を
開けられるかな

かわいい布を使っておしゃれに

カルトナーズの写真立てを作ろう!

厚紙と多様な色柄の布を使った写真立てを作り、写真をきれいに飾って楽しんでもらおうと「カルトナーズの写真立てを作ろう!」が2月23日、子ども館で行われました。参加したのは小学1~4年生の12人。傍らで親が見守る中、台紙となる厚紙に、写真より一回り小さい楕円形の穴を開けた厚紙・スポンジ・布を貼り付けていきました。お気に入りの写真を入れて完成した写真立てを満足そうに手にした児童たちは、「部屋に飾ろう」「おばあちゃんにプレゼントしよう」と楽しそうに話していました。



開会前の講習でルールを説明

勝負を分ける最後の一投

初心者チームも熱い戦い

市民ユニカール大会

ユニカールを通して市民に健康増進と仲間づくりを
図ってもらおうと「市民ユニカール大会」が2月16日、市
体育館で開催されました。1チーム3人編成の23チーム
が5ブロックに分かれてリーグ戦を行い、続いて各ブロッ
ク上位2チームによる決勝トーナメント戦と残りのチー

ムによる交流戦が行われました。ユニカールはルールが
簡単で、子どもから大人まで誰にでも楽しめるスポーツ
とあって、初心者のチームも競技を重ねるごとに、こつ
をつかんだ様子。和気あいあいの中にも真剣な戦いを繰
り広げました。